

13 公共施設等分布状況

(1) 特徴

○高島平地区

- ・高島平地区は、高度経済成長期に整備された高島平団地を抱える地区で、近年高齢化が急速に進行しています。
- ・人口は約 100,000 人、公共施設数も 133 施設と最も多く、公共施設の人口あたり延床面積は 1.94 m²/人（板橋区平均 1.52 m²/人）となっています。
- ・小学校は 6 校、中学校は 4 校が立地しています。
- ・高島平区民館（区民事務所、地域センター、児童館）があります。
- ・地区北西部には、東京都水道局三園浄水場や東京都下水道局新河岸水再生センターが、また、高島平六丁目には中央卸売市場板橋市場と板橋トラックターミナルがあるなど、広大な敷地を擁する施設が立地しています。
- ・地区内には、第一種中高層住居専用地域を中心に、第一種低層住居専用地域、準工業地域、商業地域など様々な用途地域があります。

○蓮根地区

- ・蓮根地区は、蓮根駅周辺に位置し、住宅地、商業地、工業地が混在しています。
- ・人口は約 19,000 人で、公共施設の人口あたり延床面積は 1.71 m²/人（板橋区平均 1.52 m²/人）となっています。
- ・小学校 4 校、中学校 2 校が立地しています。
- ・人口に対し、比較的多くの施設が立地しています。
- ・地区の南側の一部を環状 8 号線が通過しており、その地域には「環状 8 号線 A 地区沿道地区計画」の区域があります。
- ・地区内は、第一種住居地域を中心に、準工業地域、第一種中高層住居専用地域工業地域第一種特別工業地区などがあります。

○舟渡地区

- ・舟渡地区は、荒川沿い、埼京線浮間舟渡駅西側に位置しています。
- ・荒川沿いにリサイクルプラザや運動公園があり、駅周辺は商業地、住宅地が集積
- ・人口は約 19,000 人、公共施設の人口あたり延床面積は 3.89 m²/人（板橋区平均 1.52 m²/人）となっています。
- ・地区内の学校は舟渡小学校が立地しています。
- ・生活産業型第一・第二工場ビルや企業活性化センター（いこいの家、保育園併設）といった産業振興施設、リサイクルプラザといった大規模な施設が立地しています。
- ・地区中央東側を国道 17 号線と J R 埼京線、東北・上越新幹線が通過しており、西部の区界に J R 埼京線の浮間舟渡駅が立地しています。
- ・地区の北側半分は荒川河川敷です。

- ・中央部から東側にかけて「舟渡三丁目地区地区計画」、「浮間舟渡駅周辺南地区地区計画」、「浮間舟渡駅周辺地区地区計画」の区域があります。
- ・地区内は、工業専用地域、工業地域第一種特別工業地区、準工業地域、準工業地域第二種特別工業地区など、工業系の用途地域が大部分を占めています。

(2) 現状

○高島平地区

- ・昭和 38 年に整備された西台中学校は平成 27 年度から大規模改修工事を実施する予定です。
- ・その他の学校施設は昭和 40 年代後半から 50 年代前半に整備されており、築 35 ～44 年経過しています。
- ・集会所の地区内の延べ床面積の総計は地区内人口が最も多いこともあり、2,148 m²で区内 1 位となっています。
- ・集会所の利用率はおおむね良好ですが、新河岸一丁目集会所、新河岸公園内集会所の利用率が低くなっています。

○蓮根地区

- ・昭和 30 年代に整備された志村坂下小学校や志村第三中学校については、平成 20 年代に入ってから大規模改修を実施しています。
- ・集会施設は、坂下二丁目集会所の利用率が低くなっています。
- ・教育相談所（蓮根）は平成 27 年度に廃止し、志村第六小学校の施設として活用する方向で準備を進めています。
- ・志村坂下保育園は、平成 26 年度の民営化に向けて準備を進めています。

○舟渡地区

- ・志村橋児童館の一日あたり利用者数が区平均より少なくなっています。
- ・舟渡小学校は昭和 44 年に整備されており、築 46 年経過しています。

出典：公共施設等の整備に関するマスタープラン

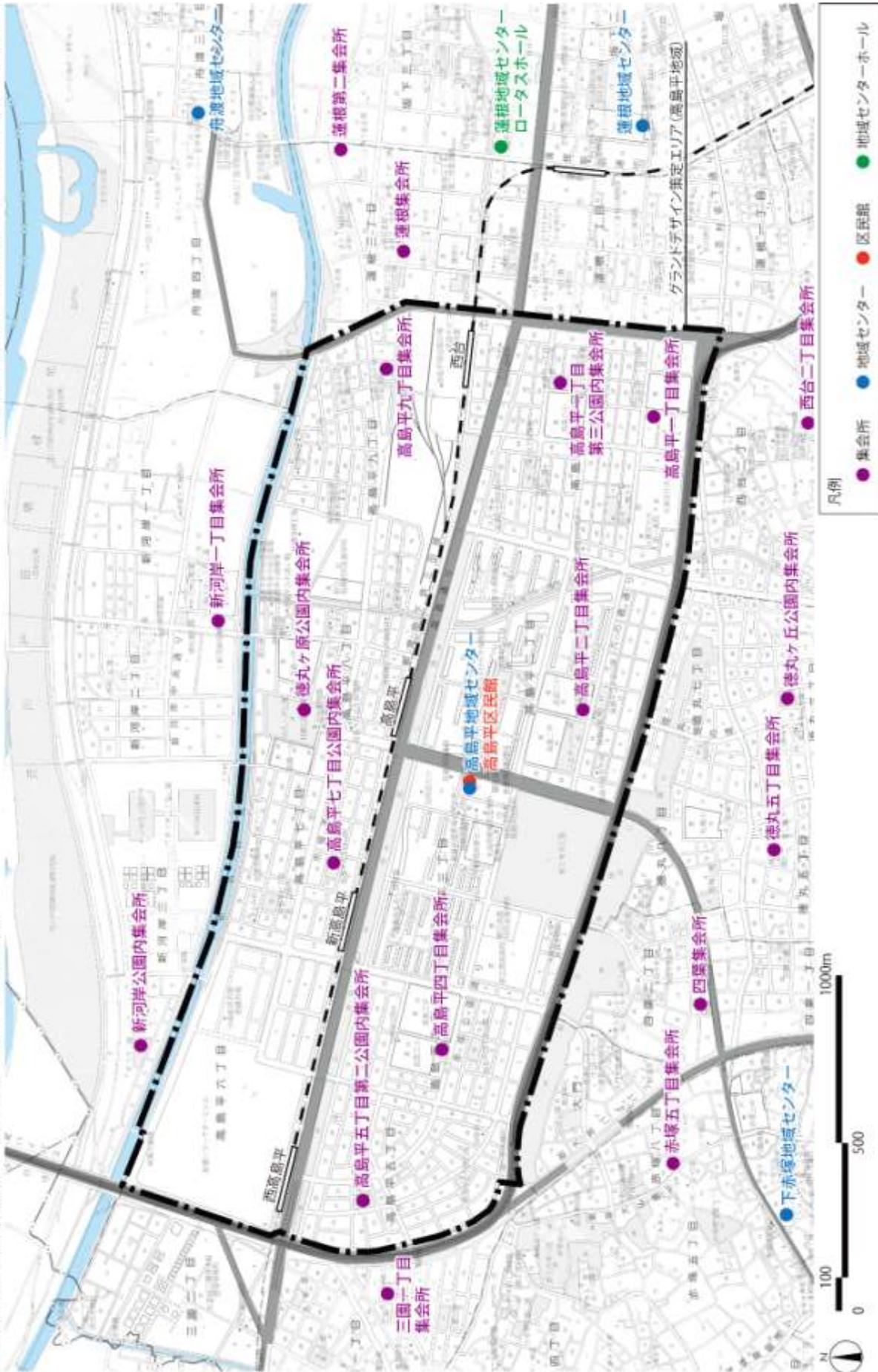
■ 庁舎等

参考：公共施設等の整備に関するマスタープラン（平成25年5月・板橋区）



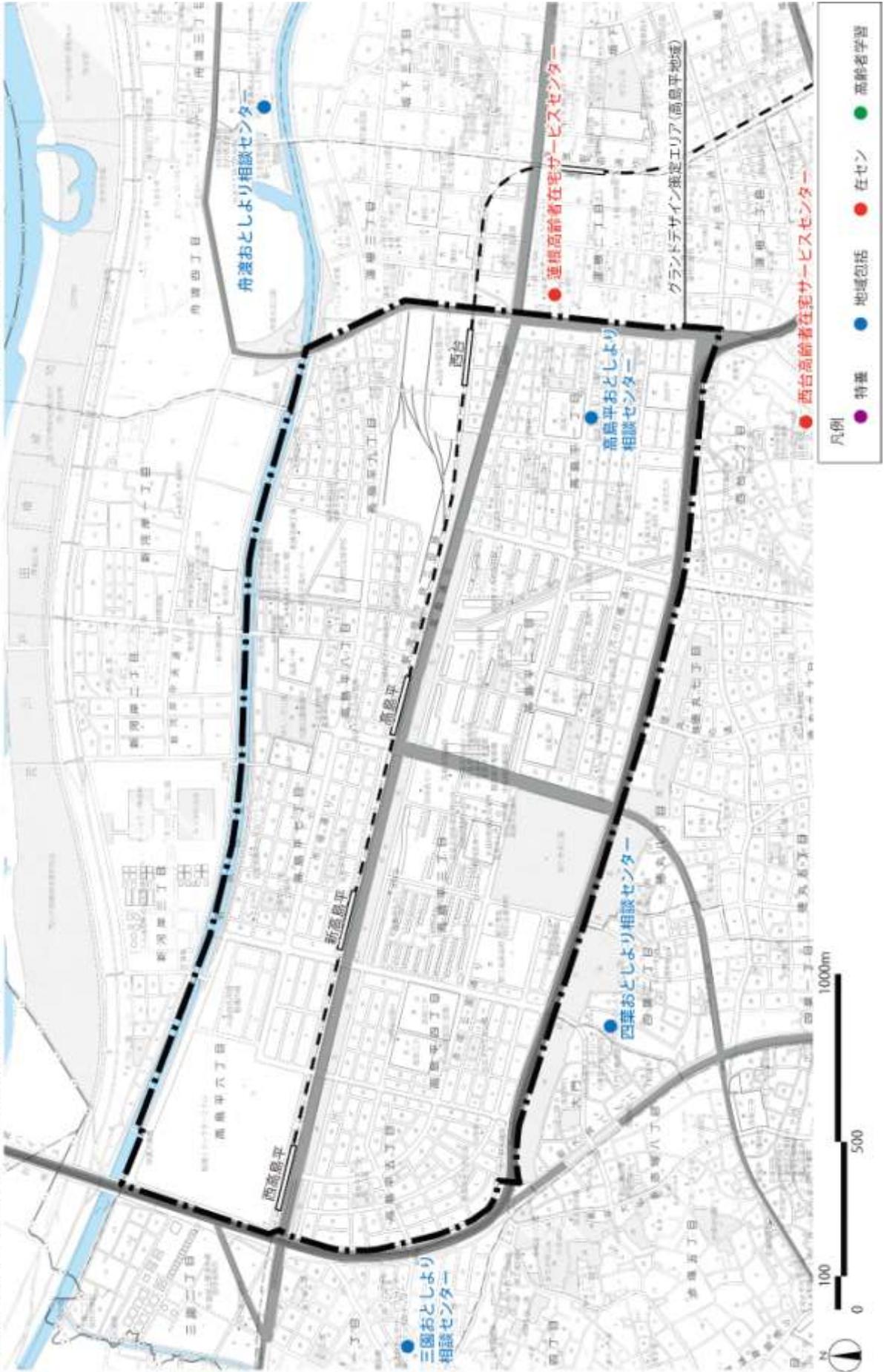
■ 公共施設分布状況（集会・コミュニティ施設）

参考：公共施設等の整備に関するマスタープラン（平成25年5月・板橋区）



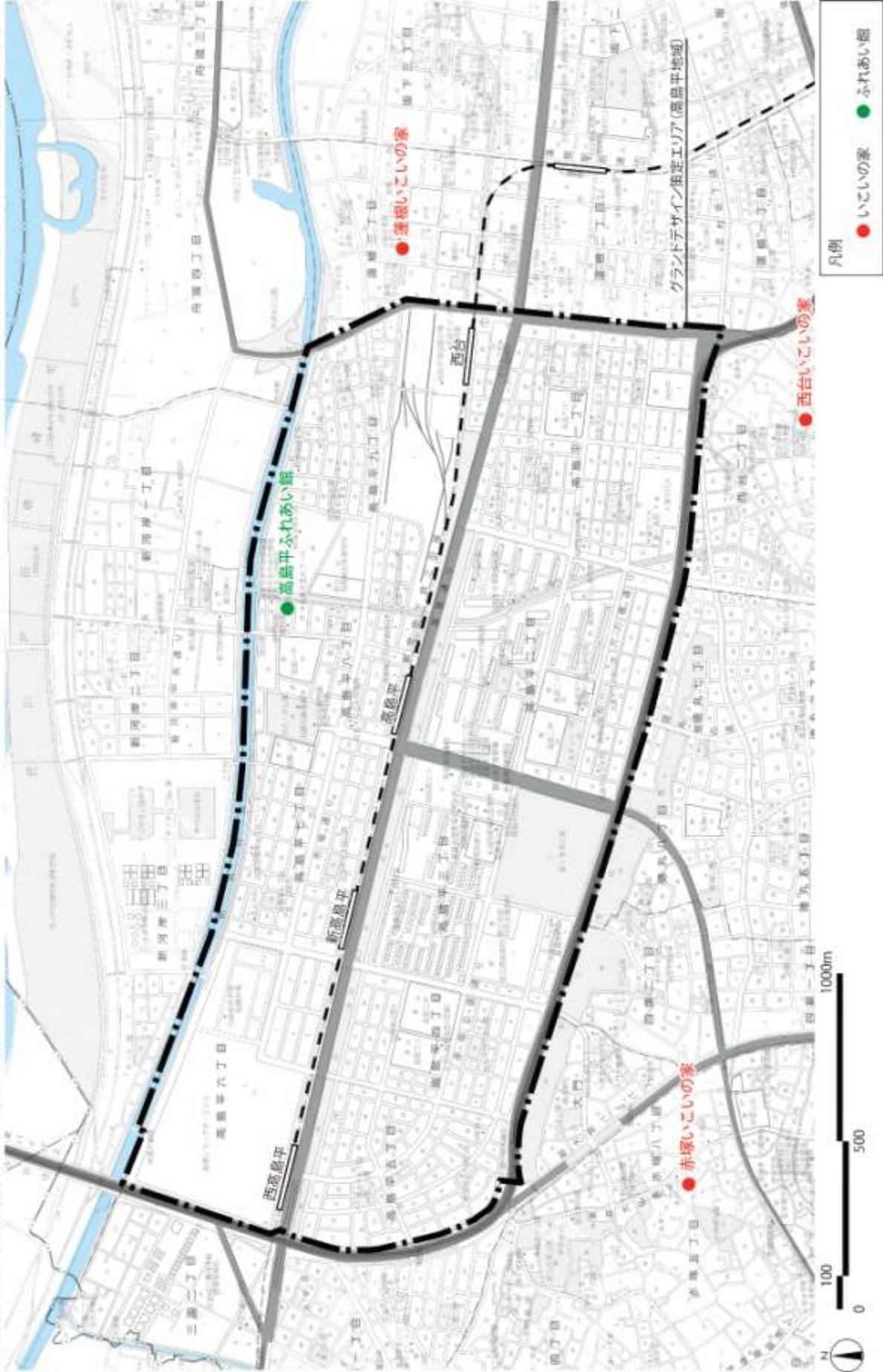
■ 公共施設分布状況（高齢者福祉施設）

参考：公共施設等の整備に関するマスタープラン（平成25年5月・板橋区）



■ 公共施設分布状況（高齢者集會施設）

参考：公共施設等の整備に関するマスタープラン（平成25年5月・板橋区）



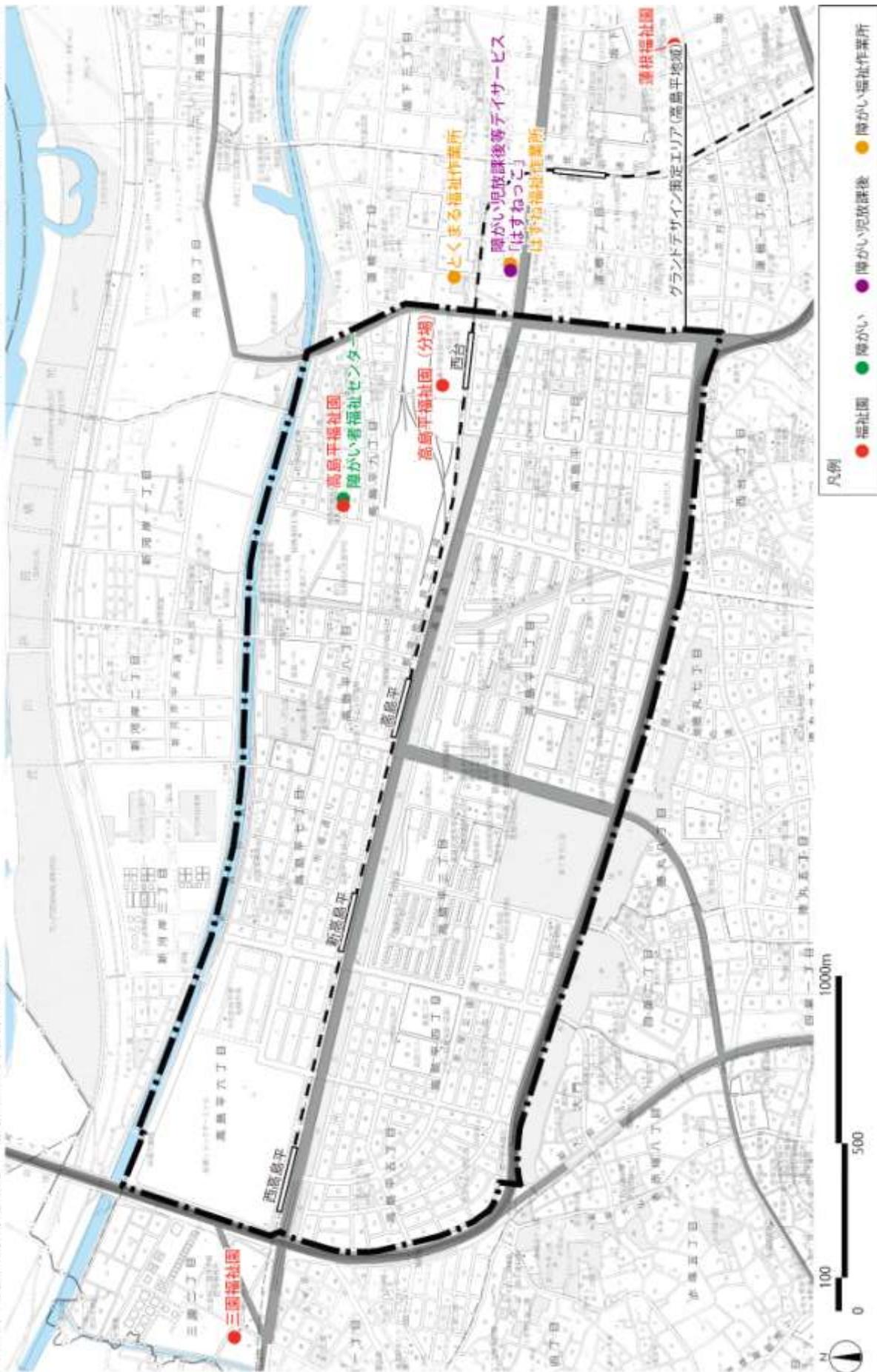
■ 公共施設分布状況 (福祉事務所)

参考:公共施設等の整備に関するマスタープラン(平成25年5月・板橋区)



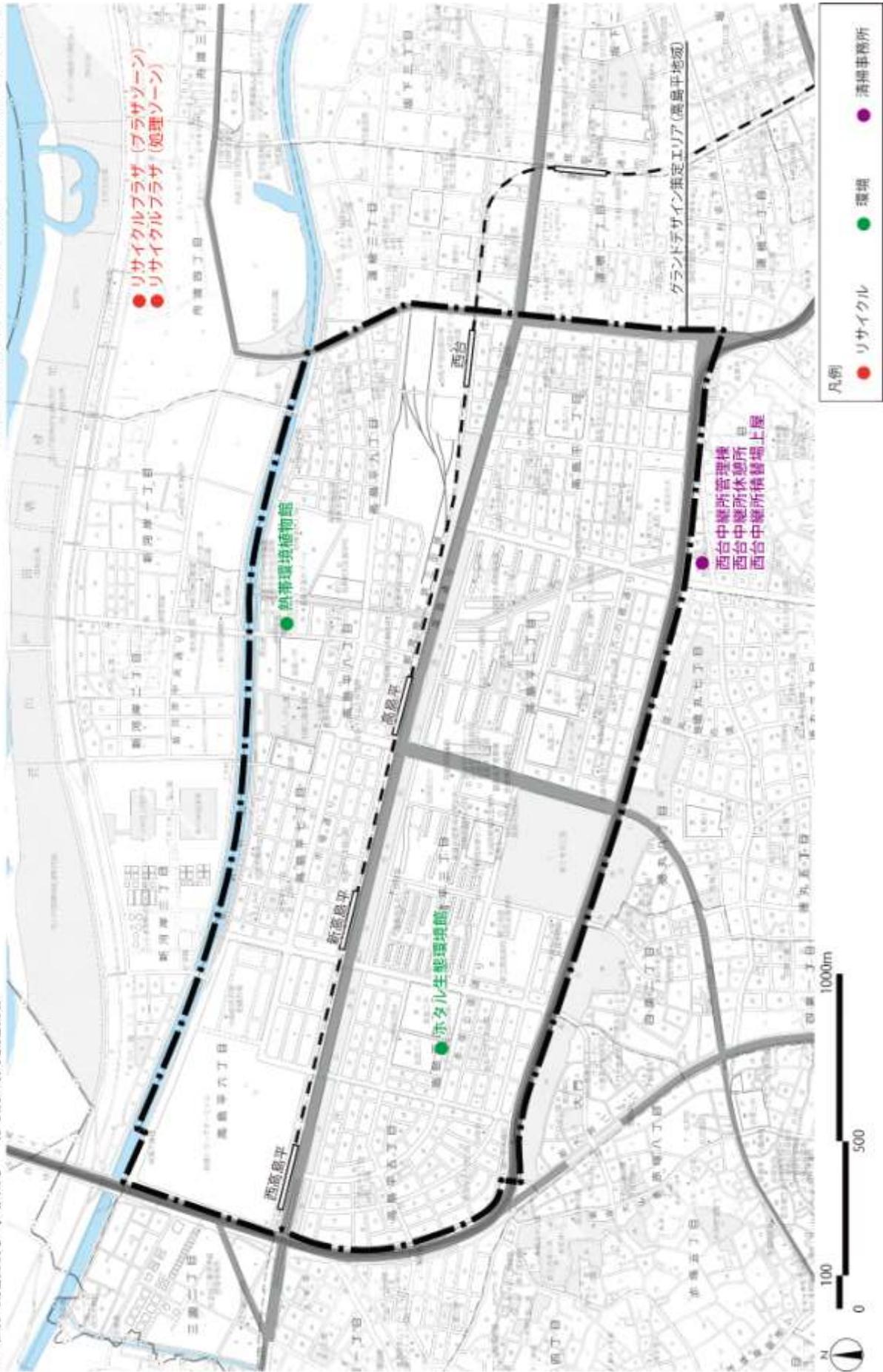
■ 公共施設分布状況 (障がい者福祉施設)

参考: 公共施設等の整備に関するマスタープラン(平成25年5月・板橋区)



■ 公共施設分布状況 (資源環境施設)

参考:公共施設等の整備に関するマスタープラン(平成25年5月・板橋区)



■ 公共施設分布状況（図書館及び文化・社会教育施設）

参考：公共施設等の整備に関するマスタープラン（平成25年5月・板橋区）



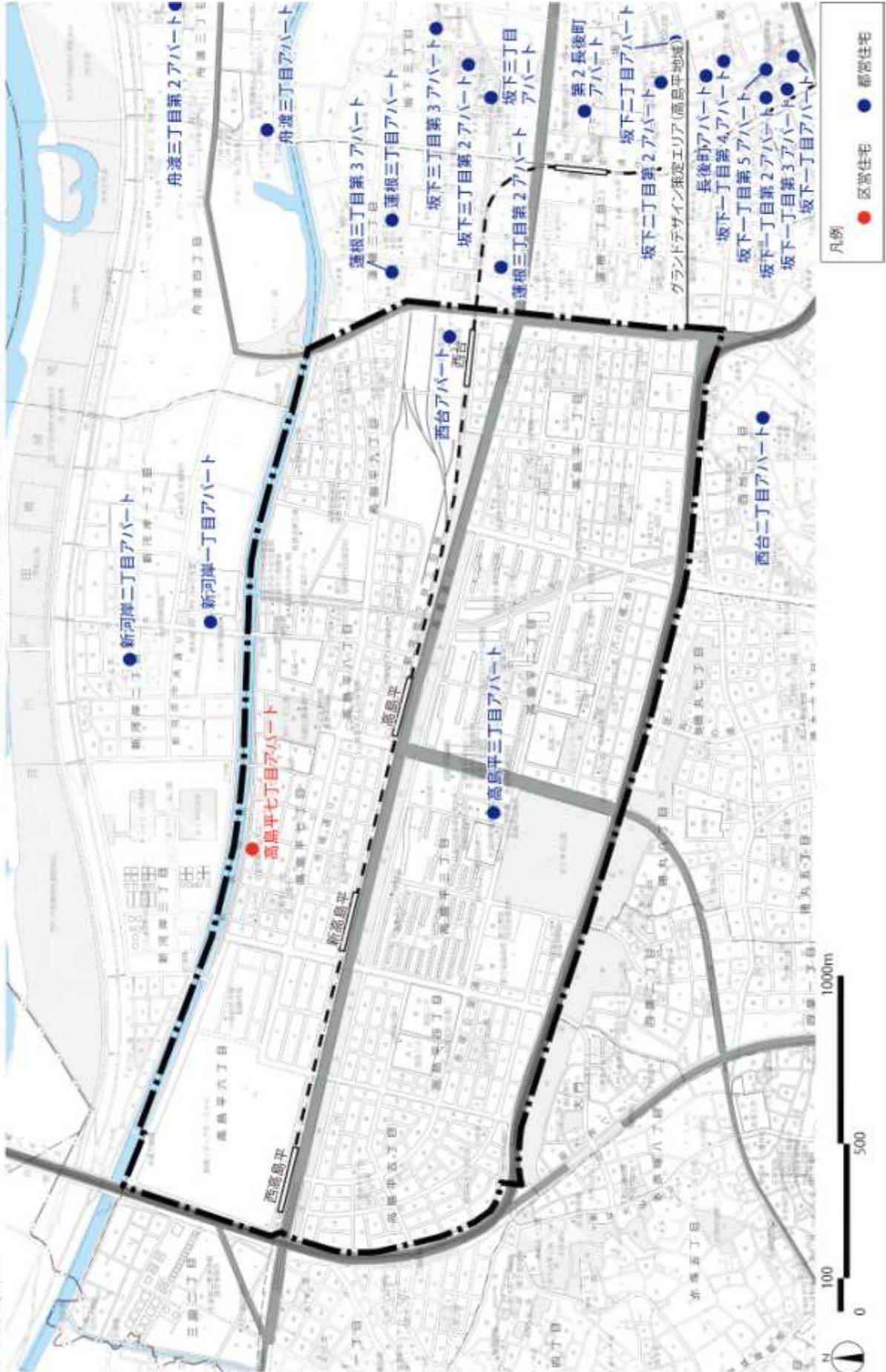
■ 公共施設分布状況（健康福祉センター）

参考：公共施設等の整備に関するマスタープラン（平成25年5月・板橋区）



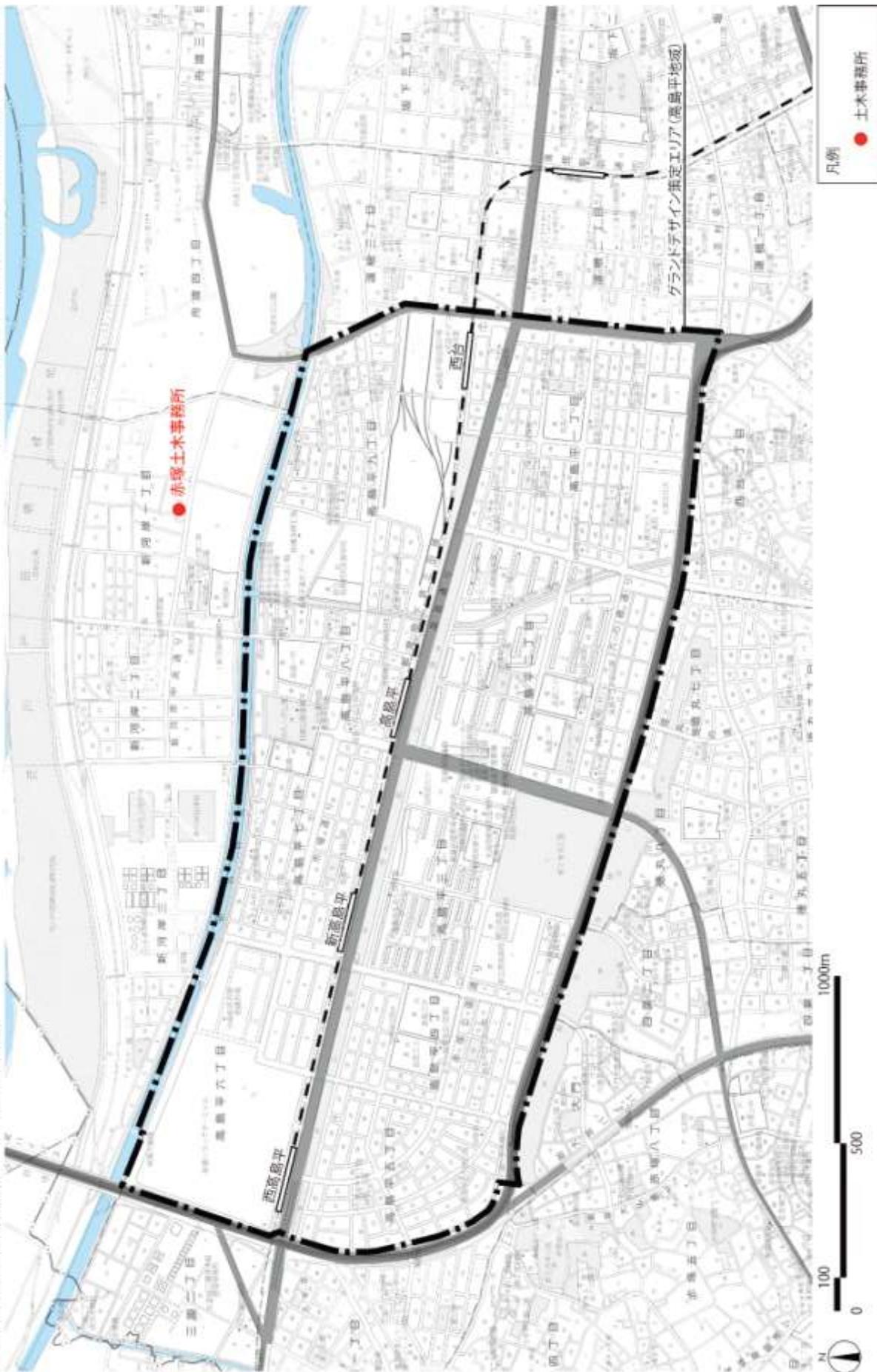
■ 公営住宅

参考:公共施設等の整備に関するマスタープラン(平成25年5月・板橋区)、都営住宅団地一覧 板橋区(東京都都市整備局)



■ 公共施設分布状況（土木事務所）

参考：公共施設等の整備に関するマスタープラン（平成25年5月・板橋区）



■ 公共施設分布状況（くらし）

参考：公共施設等の整備に関するマスタープラン（平成25年5月・板橋区）



14 学校

(1) 小学校

- ・高島平地域には、高島第一、第二、第三、第五、第六小学校の5つの小学校があります。
- ・学校区としては、上記5つの小学校区のほか、一部東側の蓮根第二小学校、北側の新河岸小学校の学校区に含まれるため7つの小学校区に分かれています。
- ・板橋区では、平成14年度以降、5校の小学校が廃校しており、そのうち2校（高島第四小学校、高島第七小学校）が高島平地域内の小学校です。
- ・最も規模が大きいのは高島第二小学校で児童数495人、最も小さいのは高島第五小学校で児童数244人で学級あたりの児童数も24.4人と区平均よりも少なくなっています。

表：高島平地域の小学校在籍児童数（平成26年5月1日時点）

学年	1	2	3	4	5	6	合計		学級あたり児童数
							児童数	学級数	
板橋区	3751	3603	3508	3577	3501	3622	21562	707	30.5
高島第一小	62	80	75	67	70	76	430	13	33.1
高島第二小	83	83	82	77	89	81	495	16	30.9
高島第三小	59	64	64	63	43	64	357	12	29.8
高島第五小	42	41	37	44	42	38	244	10	24.4
高島第六小	74	84	78	72	67	89	464	15	30.9

(2) 中学校

- ・高島平地域には、高島第一、第二、第三、西台中学校の4つの中学校があります。
- ・学校区としては、上記4つの中学校区に分かれています。
- ・最も規模が大きいのは高島第三中学校で生徒数498人、最も小さいのは高島第二中学校で生徒数330人となっています。学級あたりの生徒数は、西台中学校以外は区平均よりも少なくなっています。

表：高島平地域の中学校在籍生徒数（平成26年5月1日時点）

学年	1	2	3	合計		学級あたり生徒数
				生徒数	学級数	
板橋区	3042	3084	3130	9256	271	34.2
高島第一中	124	130	134	388	12	32.3
高島第二中	105	96	129	330	10	33.0
高島第三中	166	167	165	498	15	33.2
西台中	137	154	126	417	12	34.8

(3) その他

○高等学校

- ・高島平三丁目に都立高島高等学校、高島平一丁目に大東文化大学第一高等学校があります。

○大学

- ・高島平一丁目に大東文化大学板橋キャンパスがあり、文学部、経済学部、外国語学部、法学部、経営学部、環境創造学部の3、4年生が学んでいます。
- ・環境創造学部では、「みらいネット高島平（高島平団地活性化事業）」を実施しており、高島平団地に学生が居住し、住民とともにさまざまなボランティア活動・地域活動を展開し、新しい都市型コミュニティの形成を追求する独自の取り組みが実施されており、地域とのつながりを強めています。

○特別支援学校

- ・高島平三丁目の都立高島高等学校に隣接する都立高島特別支援学校と、高島平八丁目の板橋清掃工場に隣接する都立板橋特別支援学校があります。

15 地域医療・福祉

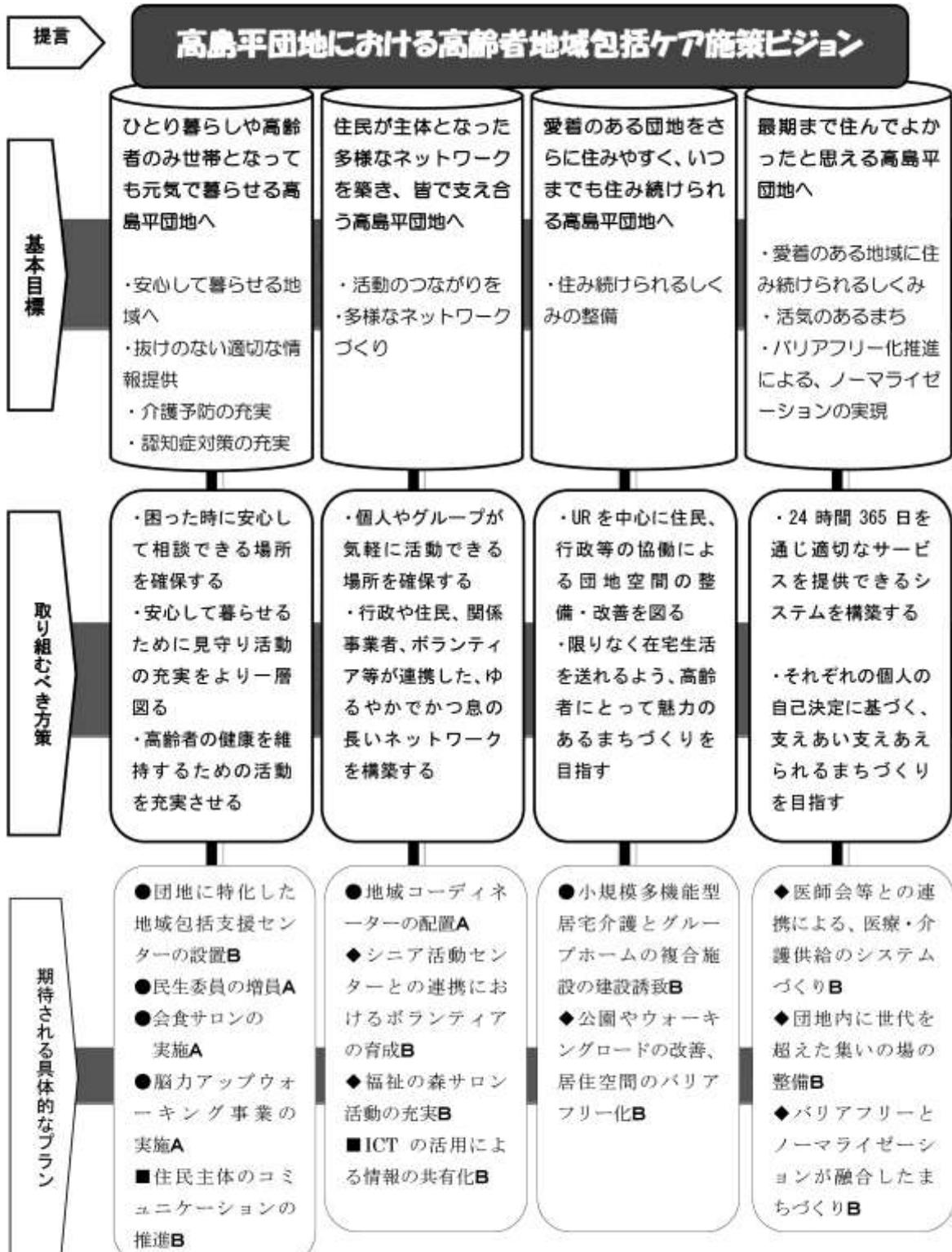
- (1) 高島平団地 高齢者地域包括ケア施策ビジョン(高島平団地高齢者地域包括ケア検討委員会 H24.5)
- ・高齢化問題が一気に集中すると思われる大規模集合住宅において、高齢者への地域包括ケアシステムのあり方について、事業化に向けたビジョンを作成しており、高島平団地における地域包括ケアをめざす目的として、次の3つがあげられています。

■ 高島平団地における高齢者地域包括ケアをめざす目的

- ① ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の住民が安心して暮らせるまちづくりが必要
 - ふだんからの近所づきあいなど外部とのコミュニケーションが不足しないよう、本人のみならず周囲の意識啓発が欠かせない。
 - 都心等への通勤経験者がリタイアし、一人暮らしに移行する場合、地域の環境、近隣との付き合いなど、様々な日常生活上の接点を見出していく必要がある。
 - 身体的・精神的な問題により閉じこもりや引きこもりなどが発生する可能性が高いため、早期かつきめ細かな対応・処置がされるよう、保健・医療・福祉のネットワーク化が今後ますます重要となる。
- ② 団地住民の多種多様なニーズを把握し、関係者が連携してサービスを提供できる体制づくりが必要
 - 地域のネットワークがはりめぐらされていることで、何か問題や悩み事が起きた場合への対応が素早く、問題が大きくなる前に手を打つことができる体制が必要である。
 - ネットワークが機能すると、従来は点でしかとらえられなかった地域の課題や困難ケースへの対応が効果的かつ的確になされるようになる。
(例: 専門職につないで的確なアドバイスを得て、迅速な処置が可能になる、など)
- ③ 団地住民どうしが交流できるコミュニティづくりが必要
 - 長く住み続けていくためには、隣近所、近隣同士のコミュニケーションや協働がもっと活発になされるほうが望ましい。
 - 震災や災害時への備えはより現実的な問題としてとらえ、支え合うことが大切であることを認識し、ふだんの付き合いから交流をひろげていくことが望ましい。
 - 一方で、個人のライフスタイル、それぞれが持っているネットワークも尊重しながら、お互いを認め合えるような機会、一緒に考え活動することで新たに得られる知見などを広げていくしくみをつくることが求められている。

- ・アンケートやヒアリング、ワークショップ等を経て次のようなビジョンやめざす到達イメージが示されました。

■ 高島平団地において高齢者地域包括ケア施策ビジョン

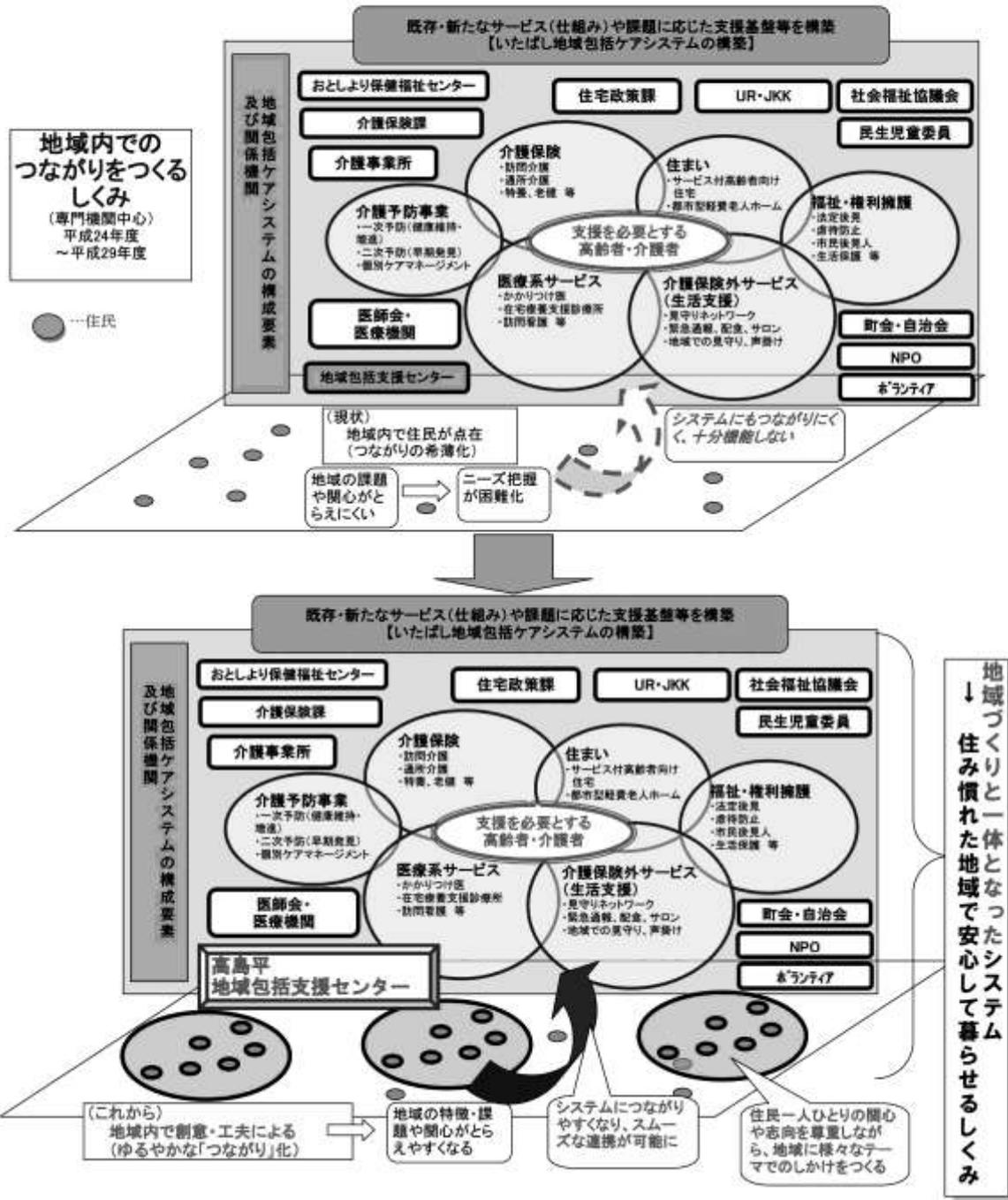


●…行政主体と思われる対策 ◆…官民協働と思われる対策 ■…民間や住民など、自主主体と思われる対策
 A…すぐに行えること B…中長期的な目標

■ ビジョンのめざす到達イメージ

ビジョンのめざす到達イメージ ~地域でのさまざまな「つながり」を想定しています~

~ 住み続けたい高島平団地へ ~ 高島平地域包括ケアシステムの構築



(2) 医師会病院を中心とした高島平の地域医療・福祉

- ・板橋区医師会病院は、板橋区医師会により開設された開放型病院であり、板橋区医師会会員を中心とした医師との連携を重要視し、「豊かな地域医療」を提供することを理念に掲げています。(病床数 192 の中規模病院。診療科：内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、眼科、皮膚科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科)
- ・その活動の中で、板橋区から委託を受けて「高島平おとしより相談センター(地域包括支援センター)」を運営しています。主任ケアマネジャー2名、社会福祉士2名、保健師1名、ケアマネジャー2名が在籍し、相談を受けたり、自宅訪問を実施し、必要に応じて区や関係機関と連携しています。
- ・このほか、板橋区医師会として高島平介護予防支援事業所、在宅ケアセンター、訪問看護ステーション、療養相談室を運営し、医療ばかりでなく介護に関しても積極的に取り組み、地域医療の中心的な役割を担っています。

(3) 旧高島平五丁目高齢者在宅サービスセンター跡地の活用

- ・旧板橋区立高島平五丁目高齢者在宅サービスセンター(以下、「旧高五在セン」という。)は、平成10年の開設以来、認知症対応型通所介護などのサービスを提供していたが、旧高五在センで行っていた認知症対応型通所介護は、民間事業者の参入が進んできており、また施設の老朽化も著しいことから、平成25年3月31日に廃止されました。
- ・区では、今後、介護を必要とする後期高齢者が増えていくことが想定されるなか、高島平圏域における介護予防の充実及び介護サービス事業所の整備を図っていく必要があると考え、旧高五在セン跡地を事業者に貸し付け、高島平圏域における高齢者地域包括ケアを推進するため、これからニーズが高まると想定される地域密着型サービスを中心とした介護サービス事業所を整備することとしました。

開放型病院：病院の施設や機能を、診療所の医師など、病院に勤務する医師以外の医師にも開放している病院を指す。すなわち、開放型病院と契約関係にある診療所の医師(当院においては板橋区医師会員)が、診療している患者に入院治療や特殊な検査などの必要が生じた場合に、その病院に患者を紹介し、病院の医師と共同して診療することができる病院。

(4) 子育て支援施設等の状況

- ・高島平地域には、区立幼稚園が1箇所、私立幼稚園が3箇所あります。

○幼稚園

- ・区立幼稚園については、定員の約64%の在園状況となっています。
- ・私立幼稚園は、定員を上回る在園児を抱える幼稚園もみられますが、全体としては定員の約93%の在園状況となっており、充足しているといえます。

表：高島平地域の区立・私立幼稚園在園児数

区立幼稚園在園児数(5月1日現在) かつこ内は区外園児数(内数)

No	園名	3歳児	4歳児	5歳児	合計	定員
1	高島	— (—)	45 (0)	45 (0)	90 (0)	140
	合計	— (—)	45 (0)	45 (0)	90 (0)	140

私立幼稚園在園児数(5月1日現在) かつこ内は区外園児数(内数)

No	園名	3歳児	4歳児	5歳児	合計	定員
1	大東文化大青桐	104 (4)	88 (2)	89 (3)	281 (9)	200
2	こうま	50 (0)	55 (0)	72 (0)	177 (0)	310
3	きよみ	74 (0)	81 (3)	56 (0)	211 (3)	210
	合計	228 (4)	224 (5)	217 (3)	669 (12)	720

○保育園

- ・保育園については、公立・私立ともにいずれの施設においても入所率はほぼ100%となっています。
- ・高島平地域センター担当地区の待機児童状況は平成26年4月現在、25人となっており、1歳児待機児童が特に多くなっています。
- ・ただし、区全体からみると、次頁のグラフの通り待機児童数は比較的少なくなっています。

表：高島平地域の保育園入所状況・公立（H26.4）

No.	保育園名	認可定員数							入所児童数							暫定定員に対する欠員児童数						入所率		
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		計	
1	つくし	10	14	17	18	19	19	97	10	14	17	18	19	19	97									100.0
2	すみれ	6	13	18	22	23	24	106	6	13	17	22	23	22	103			1				2	3	97.2
3	けやき	6	10	16	20	20	20	92	6	10	16	20	20	20	92									100.0
4	つぼみ	10	15	20	20	20	20	105	10	15	20	20	20	20	105									100.0
5	もみじ	9	18	19	20	20	20	106	8	18	19	20	19	20	104	1					1		2	98.1
6	さつき	9	12	16	16	16	16	85	9	12	16	16	13	16	82						3		3	96.5
7	あやめ	9	10	17	20	20	20	96	9	10	17	19	20	20	95				1				1	99.0
8	くるみ	10	14	18	22	23	23	110	10	14	18	22	22	23	109						1		1	99.1
	計	69	106	141	158	161	162	797	68	106	140	157	156	160	787	1		1	1	5	2	10		98.7

表：高島平地域の保育園入所状況・私立（H26.4）

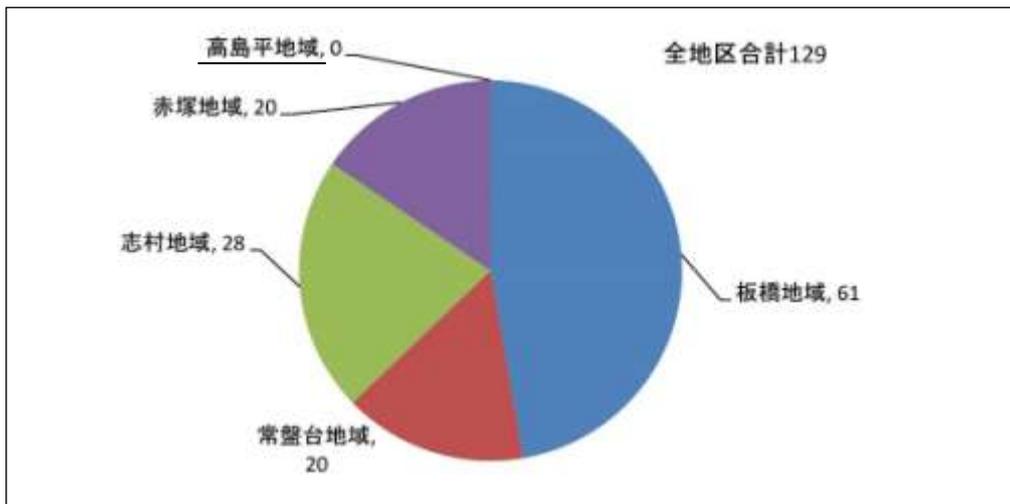
No.	保育園名	認可定員数							弾力定員数							入所児童数							弾力定員に対する欠員児童数						入所率		
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳		計	
1	聖マリア	12	22	24	23	23	23	127				2	2	2	6	12	22	24	22	25	25	130					3			3	97.7
2	白鳩	15	21	21	20	20	20	117			1	2	2	2	7	15	21	22	22	22	22	124									100.0
3	こじか	15	19	21	18	18	18	109				2	2	1	5	15	19	20	18	20	20	112					2			2	98.2
4	かえで	9	16	18	21	23	23	110	1	3	3	3	1	1	12	10	19	21	24	23	24	121						1		1	99.2
5	つつじ	9	11	15	19	20	20	94							9	10	15	18	19	20	91	1			1	1			3	96.8	
	合計	60	89	99	101	104	104	557	1	3	4	9	7	6	30	61	91	102	104	109	111	578		1			6	2		9	9491.9

※白鳩保育園及びこじか保育園については、分園との合計

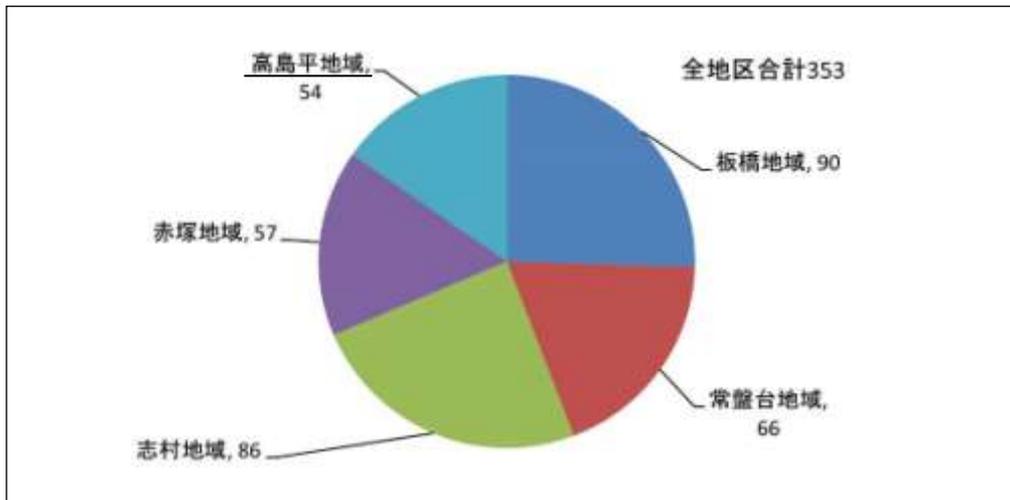
表：高島平地域センター担当地区の待機児童状況（H26.4.1現在）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
高島平一丁目	0	6	3	0	0	0	9
高島平二丁目	0	5	1	0	0	0	6
高島平三丁目	0	2	0	0	0	0	2
高島平四丁目	0	1	0	0	0	0	1
高島平五丁目	0	1	0	0	0	0	1
高島平六丁目	0	0	0	0	0	0	0
高島平七丁目	0	2	0	0	0	0	2
高島平八丁目	0	2	0	0	0	0	2
高島平九丁目	0	2	0	0	0	0	2
合計	0	21	4	0	0	0	25

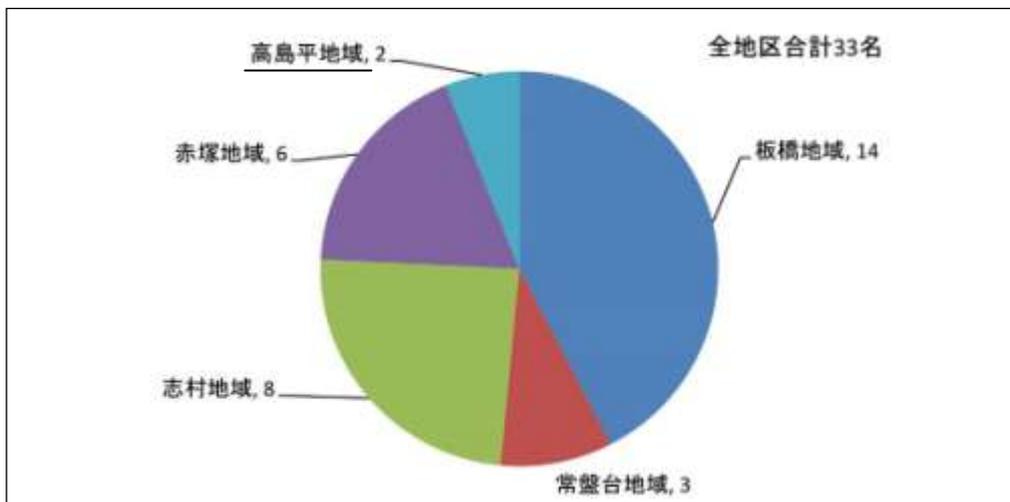
グラフ：0歳児待機児童（H26.4.1現在）



グラフ：1・2歳児待機児童（H26.4.1現在）



グラフ：3・4・5歳児待機児童（H26.4.1現在）



出典：「第3回板橋区子ども・子育て会議」資料

(5) UR都市機構の取り組み

- ・高島平団地では、複数の施策を組み合わせながら住み続けられる団地の実現をめざしています。

○板橋区とUR都市機構との連携協力に関する協定書締結（平成23年6月）

【目的】少子高齢化や安全で安心なまちづくり等への課題に対し相互に連携して取り組む

- ・高島平団地における高齢者地域包括ケア検討委員会設置（平成23年7月～平成24年3月）
- ・高島平団地高齢者地域包括ケア施策ビジョン報告書（平成24年3月）
- ・団地内集会室を利用し、独居の高齢者を対象とした会食サロン〈福祉の森サロン〉の実施（平成25年1月～）

○空家を利用した分散型サービス付高齢者向け住宅の導入

平成25年7月公募開始9月事業予定者決定〈㈱コミュニティネット〉

平成26年9月改修工事着工30戸、12月入居開始

【目的】住戸単位のサービス付高齢者向け住宅を整備、暮らし続けることの出来る団地としての機能充実

○若者世帯の入居促進事例

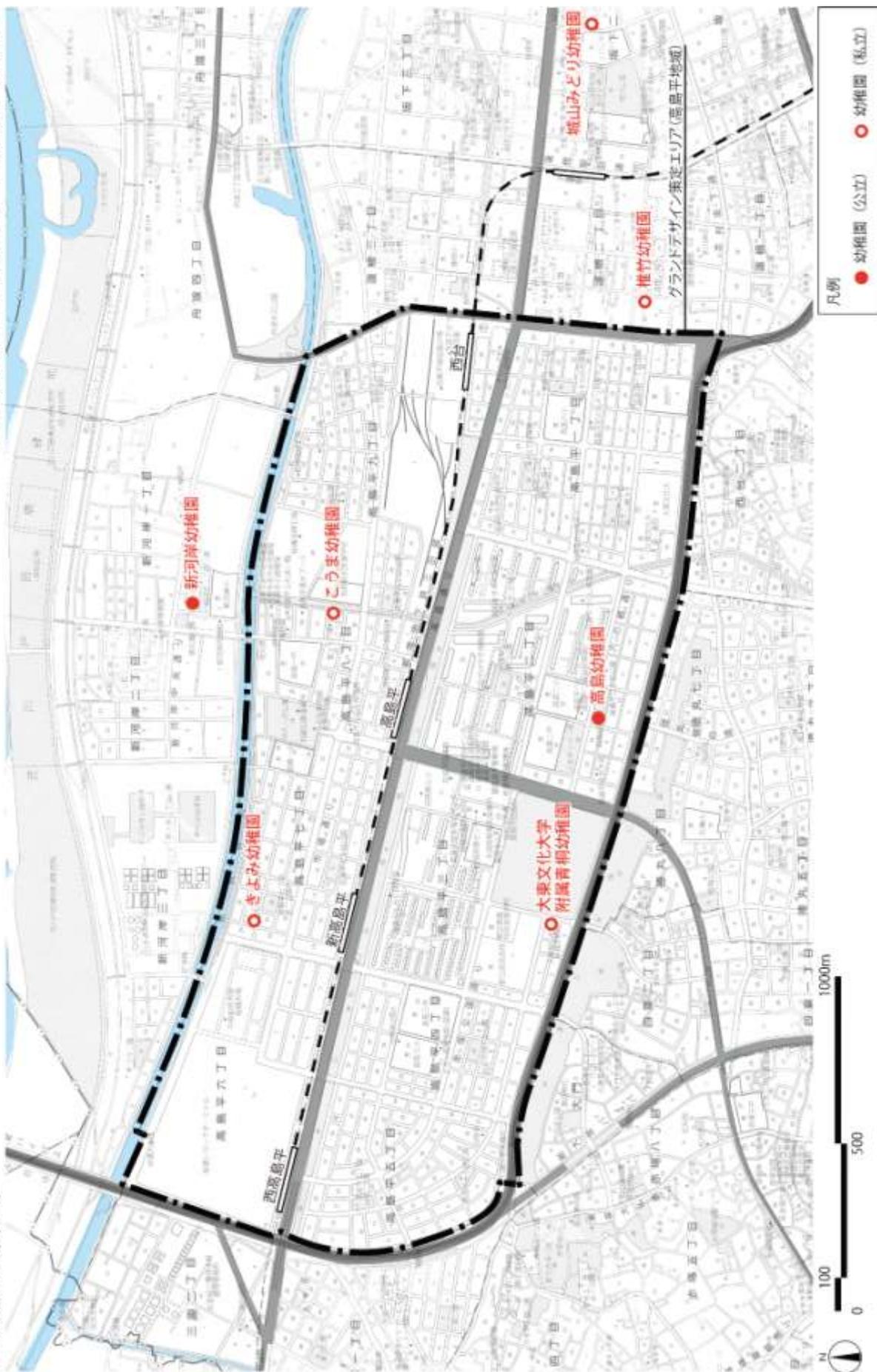
- ・MUJI×UR団地リノベーションプロジェクト
平成25年12月 プレス発表、モデルルーム完成
平成26年1月～ 入居者募集
平成26年3月 入居

〈コンセプト〉

- ・団地の暮らしの良さを大切にする
- ・古いものを見直し、新しくする
- ・「借りて住む」を魅力的にしたい

■ 幼稚園分布状況

参考：公共施設等の整備に関するマスタープラン（平成25年5月・板橋区）



16 地域コミュニティ等

(1) 町会・自治会

- ・高島平地区で活動している町会・自治会は20あります。

(2) その他の活動

- ・高島平地域には、様々な活動を行っている団体があります。

○「いたばしボランティア基金」の支援を受けた団体

- ・高島平観光協会（仮）

2012年4月から活動を開始した、高島平地域を盛り上げたい地元出身者有志が仕事と両立して頑張るボランティアユニット

- ・NPO法人高島平ACT (Asian Community Takashimadaira)

外国人住民と日本人住民との共生を目的とした団体

- ・NPO法人ドリームタウン

地域の人が出会う場をつくり、想いを共有することで、みんなの「あれ、やりたいな!」、「だったらいいな!」を実現

- ・膝楽体操倶楽部

ヘルスプロモーションを基本に、お年寄りから育児中の母子までを対象にした「膝楽体操倶楽部」の運営や体操の指導、DVDの販売等のほか、板橋区内の学校支援や地域NPOの活動支援を実施

○上記以外にも次のような地域活動が行われている（例示）

- ・高島平新聞

昭和47年に創刊された地域情報紙です。「高島平新聞」は、「まちの元気を応援します」をコンセプトに毎月15日発行の月刊誌で、高島平地域を中心に22,500部発行されています。創刊以来、地域のイベントやサークル活動などから病院の休診日や学校活動に至るまで、地域密着の情報を掲載しています。

- ・高島平地区小地域ネットワーク

東京都板橋区の高島平において、学校を主な活動場所にしながら地域の美化や趣味活動の支援、イベント、学校支援活動などの多様な活動を行なっています。高齢者の声かけに端を発しながら、最近ではボランティアの地域通貨や「わがまち大江戸舞いまつり・高島平」実行委員など、地区住民の参加を促し、助け合いや地域教育の活動を自ら創出し発展している点が特徴です。

- ・(一社) コミュニティネットワーク協会

(一社) コミュニティネットワーク協会高島平支所は、高島平団地の高島平壱番

街商店街・未来箱に活動拠点を開設し、お茶を飲みながら相談が出来る身近な寄り合い所として運営しています。そのほか、フリーマーケットやセミナーの開催など、様々なイベントも催しています。現在は「高島平団地で暮らし続けるしくみをつくる会」を主催し、ニーズ調査や仕組みづくりを支援しています。

○大東文化大学

- ・高島平一丁目にある大東文化大学環境創造学部では、「みらいネット高島平（高島平団地活性化事業）」を実施しており、高島平団地に学生が居住し、住民とともにさまざまなボランティア活動・地域活動を展開し、2004年に「高島平再生プロジェクト委員会」設置以降、新しい都市型コミュニティの形成を追求する独自の取り組みが実施されています。

取組内容とポイント(大東文化大学 HP より)

- ・留学生を含む学生と教員の団地居住プログラムの実施
- ・推進主体は学生・住民・教員からなる<みらいネット高島平>
- ・災害時支援を目的とした学生による大東レスキュー隊の結成（東京消防庁と連携）
- ・団地内コミュニティカフェ（コミュニティカフェ・グリーン）の運営と各種ボランティア・プログラム（学生が講師になった書道講座・語学講座等）の実施・インターネットで同時配信するミニFM局の運営
- ・ドキュメント・ビデオ「高島平ルネッサンス物語」の制作・公開
- ・高齢者向け膝イタ体操教室の実施
- ・食用廃油等のリサイクル活動の推進
- ・都市型養蜂事業の展開

- ・また、大東文化大学「地球環境研究会」は、新高島平ファミリー名店街内、地域交流広場「ぱうぜ」にて定期的にセミナーを開催しています。
- ・セミナーでは、大東文化大学環境創造学部の教員を中心に、環境や少子高齢化、金融問題、防災等の様々なテーマについて1回1時間程度の講義を行っています。

17 都市ランキング等

(1) 「世界で最も住みやすい都市のランキング」(モノクル)

英国のグローバル情報誌の「MONOCLE」が2014年に公表した「世界で最も住みやすい都市のランキング」では東京は2位となっています。このランキングは、都市の経済面や社会面、機能面だけでなく、毎日の暮らしやすさや人々に幸せをもたらす都市であるかどうかをMONOCLEが設定した指標をベースに評価したものであり、犯罪率、医療制度、公立学校、景気、公共交通網といったもののほか、緑地スペースの広さ、文化への取り組み、日照時間、電気自動車の充電スポットの数、新規ビジネスの立ち上げやすさといった項目も指標となっています。

東京は、「巨大都市として経済面や文化面の恩恵がありつつ、街の荒廃がない。フード、ショッピング、アートは今まで以上に魅力的で、大都市であるにもかかわらず、人々の親切心がある。厳しい規制により空気はきれいで、公共交通網が充実しており、車は必需品でなくオプション品としてとどまっている」といった点が評価され2位となっていますが、一方で、パチンコ店の数や公共の場における喫煙の禁止、労働時間過多といった点を改善すべきと指摘されています。

表：モノクル2014 世界で最も住みやすい都市ランキング

順位	都市名 (昨年順位)
1	コペンハーゲン (1)
2	東京 (4)
3	メルボルン (2)
4	ストックホルム (7)
5	ヘルシンキ (3)
6	ウィーン (5)
7	チューリッヒ (6)
8	ミュンヘン (8)
9	京都 (13)
10	福岡 (12)

(2) 一番住んでみたい街ランキング2011 (株)マクロミル調査)

(参考) 一番住んでみたい街ランキング 2011 (株)マクロミル調査)

当該調査は、20～59 才の関東地区居住者（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）9,008 人及び関西地区居住者（大阪府・京都府・兵庫県）3,760 人に対して実施した調査である。

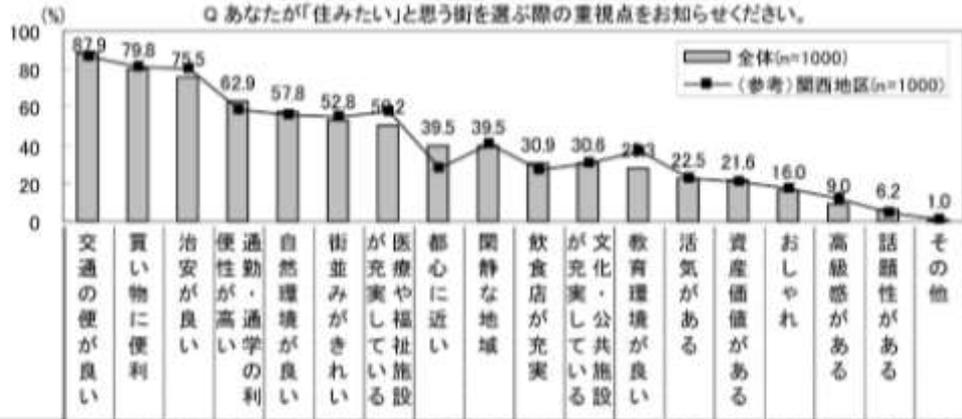
- **住んでみたい街ランキング(関東)** 関東地区に居住する男女に「住んでみたいと思う街」を駅名で尋ねたところ、1 位は「吉祥寺（12%）」で、2 位以下に5 ポイント以上の差をつけている。2 位は「恵比寿（7%）」、3 位「横浜（6%）」となっている。

- **注目している街(関東)**

関東地区に居住する男女に「東京で注目している街」を尋ねたところ、1 位「吉祥寺」、2 位「自由が丘」と住みたい街で人気の街が上位2 位となった。3 位には「浅草」、4 位は「二子玉川」、5 位は東京スカイツリー近辺の「押上・業平橋」となった。

■ 住みたい街を選ぶ際の重視点(複数回答)

住みたい街を選ぶ際の重視点は、「交通の便が良い」が88%で最も高く、次いで「買い物に便利(80%)」、「治安が良い(76%)」となっている。



属性	交通の便が良い	買い物に便利	治安が良い	便性が高い	通勤・通学の利	自然環境が良い	街並みがきれい	が充実している施設	医療や福祉施設	都心に近い	閑静な地域	飲食店が充実	が充実している施設	文化・公共施設	教育環境が良い	活気がある	資産価値がある	おしゃれ	高級感がある	話題性がある	その他		
関東全体(n=1000)	87.9	79.8	75.5	62.9	57.8	52.8	50.2	39.5	39.5	30.9	30.6	28.3	22.5	21.6	16.0	9.0	6.2	1.0					
性別																							
男性(n=500)	85.2	72.0	69.0	63.4	54.6	48.4	41.4	35.4	41.0	30.4	26.8	24.2	18.4	19.6	13.4	8.0	5.8	1.2					
女性(n=500)	90.6	87.6	82.0	62.4	61.0	57.2	59.0	43.6	38.0	31.4	34.4	32.4	26.6	23.6	18.6	10.0	6.6	0.8					
年代別																							
20代(n=250)	90.4	77.2	74.8	70.8	55.2	58.0	43.6	44.4	37.2	38.8	29.6	30.8	25.6	12.4	19.6	9.2	8.4	0.8					
30代(n=250)	84.8	80.8	69.2	64.0	53.2	48.8	42.8	38.4	35.6	26.8	27.2	31.6	21.6	20.8	14.4	8.0	6.4	1.2					
40代(n=250)	87.6	74.8	77.6	62.0	56.4	48.0	52.8	37.2	38.0	30.8	32.8	31.6	22.4	23.6	13.2	8.0	7.6	1.2					
50代(n=250)	88.8	86.4	80.4	54.8	66.4	56.4	61.6	38.0	47.2	27.2	32.8	19.2	20.4	29.6	16.8	10.8	2.4	0.8					
(参考)関西地区(n=1000)	86.2	81.5	80.0	58.6	55.6	55.4	57.5	27.5	40.6	26.9	30.3	36.5	22.6	20.3	17.2	11.3	4.5	0.7					

■ 住みたい街に対する考え方

街の特徴をあげてどのような街に住みたいと思うか「そう思う」～「そう思わない」で回答してもらった結果、関東地区では、「徒歩圏で何でもそろう街に住みたい」と思う(そう思う+ややそう思う)人は、87%となった。続いて、「都心通勤圏内で自然豊かな街に住みたい」は84%、「大きな公園のある街に住みたい」は80%となっている。

街の特徴	関東			%	関西			%	住みたいと思う計	
	そう思う	ややそう思う	合計		関東	関西	合計			
【徒歩圏で何でもそろう街】	35.4	51.6	11.7	1.3	31.8	52.5	14.1	1.6	87.0	84.3
【都心通勤圏内で自然豊かな街】	33.4	50.3	14.0	2.3	29.8	53.4	14.5	2.3	83.7	83.2
【大きな公園のある街】	29.4	50.6	17.5	2.5	30.2	50.0	17.5	2.3	80.0	80.2
【庶民的で気取らない街】	18.1	60.6	18.7	2.6	12.5	58.2	25.8	3.5	78.7	70.7
【商店街がある街】	22.1	52.4	22.1	3.4	11.9	47.9	33.5	6.7	74.5	59.8
【海や川のある街】	23.1	42.9	28.7	3.3	23.8	42.3	29.7	4.2	66.0	66.1
【下町の人情あふれる街】	10.1	44.2	37.8	7.9	3.4	41.4	43.3	6.9	54.3	49.8
【山のある街】	12.4	31.9	44.3	11.4	15.6	35.2	42.4	6.8	44.3	50.8
【歴史建造物、神社・仏閣のある街】	10.6	32.6	43.7	13.1	9.9	30.3	49.9	9.9	43.2	40.2
【高級感・ステータスのある街】	8.9	29.4	48.0	13.7	10.6	33.2	44.8	11.4	38.3	43.8